

技能エキシビジョン2023に参加

10月19日(木)に東京ガス鶴見内管研修センターにて東京ガス協力企業会とTGNW需要開拓部共催で開催され他ガス事業者7社含む80社約370名が来場しました。技能エキシビジョンはガス内管工事の品質向上と技能の伝承を目的として2007年よりスタートし、以降3年ごとに行われてきましたが、今回はコロナ禍の影響もあり5年ぶりの開催となりました。

午前中は6社のガス内管設計担当者によるパネルディスカッションが行われ、溶管事業所の柴田藍子さんがパネラーとして参加しました。設計担当者は単なる図面作成や見積だけでなく、顧客のニーズを踏まえて図面化し、施工担当者に引き継ぐ「顧客と現場のコーディネーター」という重要な役割を担っており、その中での課題等を討論しました。

午後には別会場にて大規模配管、溶接工法の実演が行われました。大規模配管の実演では、首都圏東営業所の其田諒監督と岩崎興業の岩崎班が鋼管80Aのネジ切りとフランジ接続によるループ配管を行いました。溶接工法の実演では、ミャンマーからの技能実習生アウンさん・ピョウさんの2名が、「アーク溶接」と「TIG溶接」で150Aの突合せ溶接をそれぞれ披露しました。その中で火花(スパッタ)の発生が少なく、火気養生が簡易で済むTIG溶接のメリットを紹介しました。それぞれ日頃の成果を十分に発揮し、注目を集めました。

